


山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名：富士山（3,776m、山梨県富士吉田市）	
入山日：2023年7月5-6日（水木） 1泊2日 帰宅：7/6（木）	
プラン担当者 正：鈴木 副：	剣が峰付近から見た影富士
参加者 L：報：記：鈴木 鎌田、中村 男3名、女名、計3名	
天候：7/5 曇り 7/6 早朝霧雨のち晴れ	
7/5（水）	6：00 鈴木宅集合、圏央道桶川北本ICより圏央道、中央道にて須走IC下車、 須走五合目駐車場駐車 9：00 出発—須走ルート—14：20 8合目胸突江戸屋着（泊） 行動：5h20m
7/6（木）	4：00 起床 4：30 出発—5：45 山頂（久須志神社）—6：30 剣が峰（最高峰）—7：00 久須志神社—須走下山—11：20 須走駐車場下山 行動：h50m
荒天候時のエスケープルート：引き返す	
装備	共同装備：共同食：無し 車提供：鈴木
と食糧	個人装備：雨具、防寒服、傘、替衣類、飲料水、帽子、グローブ、ヘッドランプ（予備電池）、 ストック、スパッツ（砂除）、日焼け止め、虫除薬、お風呂セット 個人食：昼食（7/5、7/6）
感想	7/5 曇りで気温低く登りの天候としては良好。砂利の道は思ったほど歩きにくくはないが 標高差1,400mの登りは決して楽ではない。小屋は宿泊客へのホスピタリティーが全く感じられず 甚だ不快。 7/6、2時に外に出ると霧雨で、暗いうちに出発する意味がなく2時間行動延期する。 4時には白み始めた好天が広がり朝食もそこそこに山頂を目指す。歩行中に太陽があがり始め 雲海の向こうのご来光をシャッターに収めた。山頂から時計回りにお鉢巡りをすると、荒々しい火山口、 太陽が巧みに作った影富士、さらに南アルプスの山並みがつぶさに堪能でき、有意義な1時間となっ た。梅雨時の平日にかかわらず登山者は多く、特に欧米系外国人の多さには驚いた。下山は“砂走り” と呼ばれる延々と続く砂利道をひたすら歩き続け、標高差1,700mを下りきって駐車場に着いた。